



記者発表資料

「八代復興出張所」の設置について

～ 令和2年7月豪雨による被害の災害復旧等の体制を強化 ～

九州地方整備局では、令和2年7月豪雨により、甚大な被害を受けた河川、道路の災害復旧工事等を迅速かつ一体的に進めるため、本日、八代河川国道事務所に、「八代復興出張所」を設置します。

災害復旧工事等を専属で担当する組織として出張所を設置することにより、熊本県知事から要請を受けた権限代行による事業を含め、迅速に関係機関調整を行い、円滑な工事の実施等を可能とし、被災地の復旧・復興を加速化してまいります。

八代復興出張所の開所にあたり、次ページのとおり開所式を行いますのでお知らせいたします。 ※取材は可能です。事前登録は必要ありません。

【災害復旧事業の概要】

○ 球磨川くまがわを渡河していた橋梁10橋かませばし にしぜばし(鎌瀬橋、西瀬橋等)を含む球磨川沿いの兩岸道路約100kmひとよし みなまた(国道219号、主要地方道人吉水俣線 等)の災害復旧事業を行います。

○また、球磨川水系球磨川及び球磨川水系の9支川かわうちがわ おがわ(川内川、小川等)において、河川の土砂・流木の撤去、被災施設の復旧等の災害復旧事業を行います。

発表記者クラブ

国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ

問い合わせ先

【道路事業に関すること】

国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路計画第一課 課長 駒井 正樹 (内線4211)

【河川事業に関すること】

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課 課長 山上 直人 (内線3611)

【出張所に関すること】

国土交通省 九州地方整備局 企画部 企画課 課長 北村 明政 (内線3151)

【開所式に関すること】

国土交通省 九州地方整備局 総務部 総務課 課長 吉永 保博 (内線2351)

住所:福岡市博多区博多駅前2-10-7 福岡第二合同庁舎

電話:092-471-6331(代表)

【開所式について】

八代復興出張所 開所式（看板設置）

日時：令和2年9月1日(火) 15:30

場所：八代河川国道事務所(熊本県八代市萩原町1丁目708-2)

<八代復興出張所の概要>

構成員：八代復興出張所長 ほか

所在地：熊本県八代市萩原町1丁目708-2
(八代河川国道事務所内)

設置日：令和2年9月1日(火)



八代復興出張所の設置

- 令和2年7月豪雨では、球磨川の多くの観測所で史上最高水位を観測し、本川の堤防が2箇所決壊するとともに、本川、支川で多数の土砂堆積や施設被災が発生。また、球磨川を渡河している道路橋10橋が流失し、球磨川沿いの国道219号や県道等(八代～人吉)で土砂流入、路体流出など甚大な被害が発生。
- 今後の本格的な災害復旧等を迅速かつ効率的に進め、被災地の復旧・復興を加速化するため、事業を担当する八代河川国道事務所へ八代復興出張所を設置。

所在地：熊本県八代市萩原町1丁目708-2(八代河川国道事務所内)

位置図



浸水面積：約1,060ha^{※1}
浸水戸数：約6,100戸^{※1}
死者(熊本県内)：65名^{※2}
死者の約7割^{※3}が球磨川流域で被災



※1：九州地整が球磨川本川沿いのヘリ映像等から算出した推定値
※2：出典は熊本県HP掲載の「令和2年7月豪雨に係る熊本県災害対策本部会議資料」(8月6日)
※3：同会議資料の被害者の住所情報をもとに九州地整が推定

河川の被害状況

○球磨川水系球磨川及び球磨川水系の9支川(川内川、小川等)において、大量の土砂・流木の流出による河道閉塞、堆積や護岸などの施設被災が発生。



